

第3学年 技術・家庭科（技術分野）

1 年間指導計画

学期	月	領域・単元	内容	教科書・教材等
前期	4	情報の技術の法則原理の仕組み	・情報のデジタル化 ・情報通信ネットワークの仕組み	教科書 新しい技術・家庭（技術分野）
	6			
後期	9	計測・制御のプログラミングによる問題解決	・計測制御システムの基本構成と情報の流れ ・計測制御システムでのプログラムの役割	副教材 技術分野 学習ノート 《東京書籍》
	10			
後期	10	計測・制御のプログラミングによる問題解決	・問題を発見し課題を設定 ・計測制御システムのプログラミングを制作 ・問題解決の評価、改善、修正	実習教材 オーロキョウト 《久富電機》
	12			
	12	情報の技術の法則原理の仕組み	・情報モラルと情報セキュリティ ・情報を安全に利用しよう ・情報の技術の工夫を読み取る	
	2			
2	社会の発展と情報の技術	・情報の技術の最適化 ・これからの情報の技術		
3				

2 観点別評価・評定・具体的な手立て

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価方法	授業観察（発言・発表） 作品、定期考査、ワークシート レポート、確認テスト	授業観察（発言・発表） 作品、定期考査、ワークシート レポート	授業観察（課題に対して改善・工夫し実践しようとしている態度） ワークシート、発言・発表
評価規準例	・情報の技術についての科学的な原理・法則を理解している。 ・基礎的な技術の仕組み、情報モラルの必要性及び情報の技術と生活や社会、環境との関わりについて理解している。 ・安全・適切なプログラムの制作、動作の確認及びデバッグ等ができる技能を身に付けている。	・必要な機能をもつコンテンツのプログラムや計測・制御システムの設計・製作などの課題を設定し、解決策の構想を考えている。 ・社会の発展と情報技術の在り方を多角的な視点から評価・判断し、自分ができることや社会に向けた提言を考えている。	・持続可能な社会の構築に向けて課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして情報の技術を工夫し創造しようとしている。 ・学習で取り組んだ内容をSDGsと関連付けて、新たな考え、捉え方を創造しようとしている。
具体的な手立て	・専門用語の意味を理解して、授業の中で意識して専門用語を活用する。 ・各時間の授業での活動をワークシートにまとめる。	・解決する課題に最初から難しいと捉えるのではなく、多面的な見方をしていく。 ・プログラミングが単に問題を解くだけにならないように、そこから工夫する。	・課題に対して粘り強く取り組み、自らの学習を調整しながら技術を工夫し創造する。 ・SDGsに関心をもって、学習した内容をつなげていく。

3 アドバイス

- (1) 授業では、生活にある物や社会を支えている技術を科学的な見方、考え方を働かせて学習します。学習したことが自分の生活の周りにあることとの共通点を考えたりすることができるようにしましょう。
- (2) 高校で学ぶ「情報」が必修となり、「情報に関する技術」で学習する内容は、高校の「情報」につながる基礎的な知識となります。そのことを意識して学習に取り組み自分の情報活用能力を育てていきましょう。